

Hara-den NEWS

今年も岩手県宮古市へ行ってきました。これで4回目の訪問となりました。昨年は仙台から宮古市へ行きましたが、今年は宮古市から北へ進み「じえじえ」で有名になった久慈を經由して八戸へと、つまり国道45号線を走ってきました。



この国道45線は太平洋沿岸を通っていてかなりの部分が津波の被害を受けています。このため国交省三陸国道事務所では新しい津波情報板、津波標識を設置しています。

左の写真は道の駅のだに設置してあった標識設置案内板です。



仙台から北上し、石巻市から南三陸町へ。あの防災対策庁舎もどうやら解体の方向らしいです。

気仙沼市へ入ると、港から750mの場所にうちあがった大きな漁船「第18共徳丸」は9/9解体工事が始まり10月には終了しています。

大槌町吉里吉里海水浴場にある橋も2年前の景色と変わっていませんでした。

宮古駅を見て田老地区へ。昨年は三陸鉄道田老駅舎がありましたましたが今年には解体されていました。

そして久慈へ向かっていくとある事に気づきました。

昨年同様地域によって復興に差がよりついて来た事です。

野田村では更地になった土地にたくさんの盛り土があり、これは津波対策だろうと思いましたが、今回見た他の地区ではこうした光景は見られませんでした。

震災から1000日が過ぎました。五輪で盛り上がるのも良いけれど、この実態を忘れてはならないと強く思いました。

